

令和3年度 筑豊地区中学校新人体育大会 柔道大会要項

主催 筑豊地区中学校体育連盟
遠中地区各市町教育委員会

1 日 時

令和3年 10月31日(日)

受付 8時00分
体重計測 8時15分から
8時45分まで
監督会議 9時00分
開会式 9時15分
競技開始 9時30分

2 会 場

岡垣町民武道館(岡垣町野間南4-1) TEL 093-282-6111

3 参加資格

- 筑豊地区中学校新人体育大会開催基準及び『特別規定』による。
- 引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員(部活動指導員を含む)とする。ただし、教育職員(部活動指導員を含む)以外のコーチは、学校長が認め、筑豊地区中体連に登録し承認を受けた者とする。

4 参加制限

団		嘉飯	田川	遠中	直鞍	合計
体	男子	4	1	4	3	12
	女子	オープン参加				

5 表 彰

男子は3位、女子は3位までを表彰する。

6 県大会出場資格

男女ともに4位以内は、県大会出場資格を得る。

7 申し込み・プログラム編成会議

- 期 日 令和3年10月8日(金) 14:00~
- 場 所 中間市立中間南中学校(住所・連絡先は下記参照)
※各地区専門部長は、申し込みをまとめてプロ編に参加すること。

8 各地区専門部長

地区	氏名	学校名	学校住所	TEL	FAX	専門部長
田川	山下 久之	糸 田	〒822-1318 田川郡糸田町3349	0947-26-0027	0947-26-1276	
直鞍	坂口ひかり	直方二	〒822-0007 直方市頓野4082	0949-26-0657	0949-26-0659	
嘉飯	井上 邦治	山 田	〒821-0011 嘉麻市下山田2	0948-52-0077	0948-52-0177	
遠中	戸川 博文	中間南	〒809-0021 中間市朝霧五丁目2番1号	093-245-4250	093-246-1170	○

9 出場制限

団体戦の選手は、男子7名、女子4名以内とする。

10 競技方法

[団体戦]

- 参加12チームを3組に分け、各組でリーグ戦を行い、各組の1位・2位の計6チームによって決勝トーナメント戦を行う。
- チーム間の勝敗は次のとおりとする。
 - 勝者数の多い学校を勝ちとする。

- ② ①で同等の場合は、「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ③ ②で同等の場合は、「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ④ ③で同等の場合は「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ⑤ ④で同等の場合、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。

(3) リーグ戦の順位は次のとおりとする。

- ① 3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗、3分、2分1敗1分2敗、3敗の順とする。
- ② ①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多い学校を上位とする。
- ③ ②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を上位とする。
- ④ ③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多い学校を上位とする。
- ⑤ ④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多い学校を上位とする。
- ⑥ ⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ない学校を上位とする。
- ⑦ ⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる敗者数の少ない学校を上位とする。
- ⑧ ⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ない学校を上位とする。
- ⑨ ⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ない学校を上位とする。
- ⑩ ⑨で同等の場合は、代表選（1名）により順位決定戦を行う。

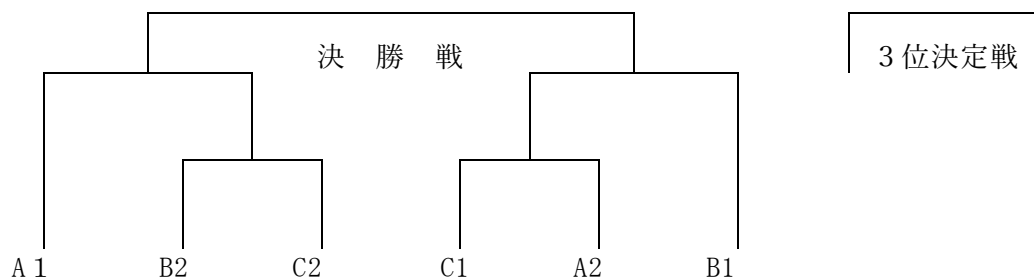
11 競技規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2018年施行の新ルール)「少年大会申し合わせ事項」及び本大会の申し合わせ事項による。
- (2) 勝敗の判定基準は、団体戦において、「一本」「技有」又は「僅差(指導の差2以上)」とする。個人戦においては、「一本」又は「技有」または「僅差」以上とする。
- (3) 代表戦の判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
- (4) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。
{ 「一本」 = 「反則勝」 > 「技有」 > 「僅差」 }
- (5) 試合時間は、個人戦、団体戦ともに3分間とし、延長戦は無制限とする。
- (6) 競技規則に問題が起こった場合は、専門部会で競技する。
- (7) チーム編成(オーダー)は、体重順とし一番軽い者が先鋒、一番重い者が大将とする。
また、選手6・7(女子団体においては選手の4)を入れる場合も同じ。
(体重が同じ時は新たに入るものが先鋒に近い方とする)
① 試合は、選手5名(女子3名)の対抗戦とする。
② オーダーの変更は認めない。
③ 一度退いた選手の再出場を認めない。
④ すでに申し込みをしている選手が事故のため変更するときは、大会開始前までに、これを認める。(変更届を学校長名(職員)で提出すること。)
※ 変更の手続きとして、すでに登録してある選手6・7(選手4)からの補充を優先に行い、新たに補充する選手が、選手6・7(選手4)に再登録をする。但し、最初から選手6・7(選手4)の登録をしていない場合は、その限りではない。
⑤ 欠員が生じた場合は、先鋒の方から空きとする。
- (8) 柔道衣の色は白色とし、女子の黒帯は、白線入りも可とする。
- (9) 柔道衣にゼッケンを着用して試合をする。(学校名・名字入り)
① 布地は白色とし、サイズは横30~35cm、縦25~30cmとする。
② 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
③ 書体は太字ゴシック体とする(明朝または楷書でもよい)
④ 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
⑤ 襟から5cm~10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- (10) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。(全日本柔道連盟が定める規定・平成25年4月1日より施行)
- (11) 団体戦・個人戦出場選手は、指定された期日・時間帯に体重測定を必ず行うこと。
また、計測を受けなかったチーム・選手は、出場を辞退したものとする。
- (12) 柔道衣コントロールは、従来通りの方法で実施する。

12 申し合わせ・組み合わせ

- (1) 服装・頭髪・まゆ毛等の乱れがある生徒については、各顧問が責任を持って試合前までに指導する。なお、改善が見られないようであれば、本大会に出場できない場合もあり得る。
- (2) 競技開始前にマナーチェックを行う。違反がある場合は、当該学校顧問、会長、専門部長と協議する。
- (3) 外部指導者の服装は、審判員に準じた服装とし、マナーを守って指導にあたる。
- (4) AEDは入口横管理室に設置している。

【男子決勝トーナメント】



※ 組み合わせは、プログラム編成時に行う。

13 新型コロナウイルス感染症予防対策

- (1) 大会参加および出場は生徒本人と保護者の意向を十分に確認し、同意を得る。その際、強制することがないように配慮する。各家庭での事情に鑑みて任意参加とする。
感染状況の最新の情報を入手し、感染する可能性がある場合には躊躇なく計画の変更・中止等適切な措置を講じる。関係者（生徒、職員およびその同居する家族等）に感染者が発生、もしくは疑われる場合には大会を中止もしくは延期する。
- (2) 朝自宅で検温し、発熱の場合には様子をみる。体調が優れない場合は速やかに帰宅させる。
- (3) 自宅からマスクを着用するとともに、自宅で柔道衣に着替えてから会場へ入る。
- (4) 車で学校や会場等へ向かう場合に、一台に多人数が同乗しない。
- (5) 会場に手指消毒液を設置し、手指を消毒する。ハンドソープも主催者で準備する。
- (6) 2方向以上の出入口や窓を開ける、常時換気を行う。
- (7) 審判員、運営スタッフ、試合に出ていない選手、応援はマスクを着用する。選手も競技中以外では着用する。
- (8) 密集を避けるため、人と人との間隔はできるだけ2メートル以上あけ、対面とならないよう工夫する。開会式、閉会式は簡素化し、短時間かつ間隔をあけた状態で行う。大声は出さず、近距離での会話や発声が極力行われぬようにする。
- (9) 共用する用具は使用前後に消毒する。
- (10) こまめな休憩をはさみ、給水用のボトルやコップ、タオルなどは共用しない。チームでのジャグタンクやウォーターサーバーなどの共有も禁止する。ドリンクはすべて自分で準備する。アイシング用のタオルや保冷剤、アイスパックはチームでの使い回しをしない。
- (11) トイレでの密集を避ける。利用する際にはハンカチを持参しトイレのフタを閉めて流すよう促す。
- (12) ゴミは、各自が責任もって持ち帰る。
- (13) 各校監督は参加した生徒や役員の情報（日時・名前・連絡先など）を記録しておく。
- (14) 大会終了後も会場入口周辺や玄関口等での密集が起こらないように各校の解散時間帯を分散させる。
- (15) 各校顧問は、選手以外の審判・役員についてリストを作成し、当日持参する。また、「大会前健康チェック表」「大会後健康チェック表」を集約し保管する。
- (16) 選手以外の入場者については、9:30までに入場しておく。
- (17) その他、詳細やさらに必要な措置についてはプログラム編成会議において協議する。
- (18) 感染予防のため、無観客で行う。ただし、役員や係員、その他の必要な人員は参加を許可する。内容については、プログラム編成会議で協議し、各学校へ通知する。